

Clinical disability progression and platelet GP IIb/IIIa values in patients with atopic myelitis

グリバハル, アイニイディン

<https://doi.org/10.15017/1441115>

出版情報：九州大学, 2013, 博士（医学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：やむを得ない事由により本文ファイル非公開（2）

論文審査結果の要旨

本研究はアトピー性脊髄炎患者 (AM) における機能不全の進行と血小板凝集能と関連をあきらかにすることを目的にしているものである。

17 人の AM 患者と 35 人の健常者対照群について臨床的、アレルギー的に評価し、血小板のグリコプロテイン IIb/IIIa (GPIIb/IIIa) の発現量を VerifyNow を用いて測定した。AM 患者においては、罹患期間が Kurtzke Expanded Disability Status Scale スコアと Sensory Functional Scale スコアに有意に正に相関していた。GPIIb/IIIa の発現量は AM 患者で男性に比べ女性において高く、また対照群に比して有意に高かった。AM は基本的には進行性の感覚器系障害疾患であるが、その病態の 1 つとして血小板の凝集機能亢進を伴うと考えられた。

発表のあと、専門的立場から種々の質問を行ったが、おおむね適切な回答を得た。よって主査副査 3 人の委員の合議の結果、試験は合格とした。